



コミュニケーションニュース

Communication News

近畿大学校友会 東京支部会報

第14号

発行日

平成26年8月10日

支部長／宮川正博 編集・文責／広報委員会 連絡先／〒132-0021 東京都江戸川区中央2-31-10-404 (株) 正栄設備 TEL.03(3674)2472 FAX.03(3674)2486

ホームページアドレス <http://www.kindai-kouyukai-tokyo.com>

近畿大学校友会東京支部定期総会のご案内

日時

平成26年9月18日(木)

【定期総会】18:30 【懇親会】19:30

場所

定期総会『近畿大学東京センター』

中央区八重洲1-8-16新横町ビル13階会議室

電話(03)3274-1105

懇親会

『ベルサール八重洲』(八重洲ファーストフィナンシャルビル)

東京都中央区八重洲1-3-7 八重洲ファースト 2F

会費

10,000円(年会費3,000円+総会費7,000円)

但し平成年度卒業で初参加の校友においては年会費のみとさせていただきます

ゲスト

高砂親方、伊勢ヶ濱親方、若松親方(元朝乃若) 誉富士関、宝富士関、徳将龍関、大岩戸関

なお、懇親会のみの参加も可能です。

連絡先

近畿大学校友会東京支部 事務局

TEL 03-3674-2472 FAX 03-3674-2486 幹事長 松元潤一まで



近畿大学校友会東京支部総会に向けて!!



近畿大学校友会東京支部
支部長 宮川 正博
昭和46年工学部卒

東京支部校友の諸先輩におかれましては、お元気でご活躍のこととお喜び申し上げます。

昨年9月の30周年記念定期総会に校友会亀岡会長をはじめ90余名の校友、ゲストの参加を頂き盛会に開催できましたことを、厚くお礼申し上げます。

今年の東京支部定期総会は、近大四谷事務所から新しく開設されました八重洲北口の近大東京センターで行います。ぜひ、東京センターの会場を校友会東京支部の校友で溢れんばかりに埋め尽くしたいと思っています。平日の夕刻からの開催ですので、お勤め帰りに気楽にお寄りください。デジタル社会の昨今、Face to Faceでお会いしましょう。

又、校友会東京支部活動も一木会を中心に各幹事が多方面において、魅力あるイベントを開催しようと計画しております。その都度ご案内をいたしますのでぜひご参加、ご協力をお願い申し上げます。

第3回近大校友会寄席のご案内

月亭文都(昭和61年卒 宮田 健司)



襲名を1年後に控えた2012年、同窓のよしみで懇意にしている東京在住の鈴々舎八ゑ馬くんから校友会東京支部のみなさんの前で落語をしないかと誘いを受けた。もちろん即答で承諾。その年の夏、「校友会寄席」は盛況の内に幕を閉じた。そして、2013年3月より、八天改メ七代目月亭文都襲名披露公演が大阪、東京をはじめ、全国各地でスタート。母校からもありがたく、お祝いを頂戴し、校友のみなさんにもたくさん会場へお越しいただいた。その襲名ツアーチ、再び「校友会寄席」の依頼を受け、八ゑ馬くんとの二回目の二人会が実現した。昨秋である。二回の寄席を通じて、学生時代は一度もお目にかかったことのない先輩や後輩のみなさんが、同じ舎で学んだというだけで、こんなに応援してくださるなんて。スポーツのみならず、これからは文化や芸術をも育てていきたいと仰った校友会長のお言葉に改めて感謝したい。

笑いには様々な効用がある。健康増進につながるだけでなく、(笑)力は人と人との壁をスパッと取り払ってしまう、世界共通の魔法の杖である。今後、「校友会寄席」がどんどん拡大し、母校の誇りを胸に、お呼びがかかれば、各支部どこへでも参上したいと考えている。今年も10月に新しくなった東京センターで「校友会寄席～文都・八ゑ馬二人会」を開いていただけるそうだ。

近大マグロ同様、「近大ラクゴ」も一度ご賞味賜りたい。どうかご支援のほど、宜しくお願い申し上げる次第である。

開催日

日 時 平成26年10月10日(金)
午後6時30分～午後8時00分まで
住 所 〒103-0028 東京都中央区八重洲1丁目8番16号
新横町ビル13階
tel.(03)3274-1105
木戸銭 落語会1名2,000円
打上費会1名5,000円

一般参加 大歓迎!!

祝・近畿大学水産研究所銀座店オープン

昭和51年水産卒 志賀 良典

銀座店開店大成功おめでとうございます。さて昨年十二月二十日に東京支部校友十五人と「まぐろコース（串本コース）」をいただきに参りました、店内はテーブルが効率的に配置されていてかつ落ち着いた雰囲気を醸し出していました。料理は刺身から始まって、網焼き、コワタ（腸）の煮付け、などなど八品、マグロのあらゆる部位を余すことなく使ったとても美味しいものでした。冷凍技術が進んでいる昨今有名な料亭が平気な顔をして少し手を加えて冷凍品をさも自分たちのオリジナルとして出してくるものとは大違い、まさに本物の料理でした、「花に水、人に心、料理に愛」と言うではないですか。料理長のまさに愛情を頂戴いたしました、校友も全員満足して満面の笑顔を浮かべて階段をおりました。

ところで、私達が頂いたマグロは近大が誇る完全養殖のものです、完全養殖とは飼育している親マグロから採卵してそれを育てたもの。完全養殖と簡単に言いますけれども、卵から孵化した仔魚を稚魚まで育て上げるのは並大抵の技術では成功しません、

何しろ生きた餌しか食べません、その餌にするプランクトンを大量にかつ安定して生産するには仔魚に対する愛情がなければつくり上げることは出来ません、そして成長して稚魚になったその少し大きな生餌の生産する新技術も、後に元気に泳ぎわれる大きさまで飼育できればあとは生餌でなくても食べてくれるので以降は大きくするだけ、三年以上かかります。現在、日本は世界中の七割のマグロを食しています、そしてそのほとんどは海外の二百海里内で漁獲されたものです、勿論高い入漁料を支払ってのこと、危惧する事は、それを外交カードとして使われてしまう事です。しかしながら、マグロを国内で大量に完全養殖すればそんな問題も解決されます、逆に海外に輸出することも出来ます、なにしろ出来上がったマグロは完全全身トロなんですから。

近大で養殖されたブリもハタもシマアジも他の多くの養殖魚も銀座店で食べれます、開店から今だにお客様が列をなすのも不思議ではありません、何しろ多くの人々の愛



情がたっぷりな食材に、料理長の愛、最高です。

最後になってしまいましたが、このイベント実現に、本部の玉置課長様には、年末のお忙しい中、大変お世話になりました。



近畿大学校友会東京支部、伊勢ヶ濱部屋と近大卒マグロを食べる

4月17日（木）に、昨年末に開店した、銀座コリドー街の近畿大学水産研究所において、伊勢ヶ濱正也親方ご夫妻、誉富士関、宝富士関の両関取と東京支部宮川支部長はじめ東京支部校友4名で、「近大卒の魚と紀州の恵み」の海鮮料理での食事会を初めて行いました。

近大卒のマグロ、シマアジ、タイの新鮮なお刺身、和歌山熊野牛の陶板ステーキ、紀州の温暖な気候で育った野菜を頂きながら、店内に常備している近畿大学 b y A E R A の「近大パワーでニッポンを救う」の雑誌で盛り上がり、近大の良さを再認識しました。又最後に両関取の東京場所の活躍をお願いし、楽しいひと時はアッという間に過ぎ去りました。参会の上手相談役、山下副幹事長、関幹事お疲れ様でした。



昭和58年通司卒 西崎 和夫

東京支部新年会の報告

2月4日（火）みぞれ交じりの悪天候の中、7年連続開催の「かに道楽」新宿本店から「クラシックホール」銀座ライオンビル6階に場所替え、高砂親方をはじめ大岩戸関、誉富士関、徳勝龍関、宝富士関、又静岡県支部故小糸副支部長、茨城県支部小嶋支部長、小川幹事長と、40余名の校友諸先輩が集まり、親睦を図り、近大節を歌い楽しく有意義な新年会を行いました。



2014.02.04

近畿大学校友会東京支部『高砂部屋ちゃんこ会』

昭和49年経済卒 近森 英文

6月12日（木曜日）恒例の26年度『高砂部屋ちゃんこ会』が高砂親方のご好意で、高砂部屋で開催されました。今回は、上手先輩（昭38年卒）はじめ長尾さん（平成23年卒）と幅広い年齢層、他支部（茨城・千葉・埼玉）の参加で総勢32名（ゲスト1名）と盛況でした。

高砂部屋ちゃんこ会の中で、土俵の隣で落語をさせて頂く機会をいただき、「花筏」という相撲の噺をさせていただいたのですが、普段はこの噺、出番の後ろの方でやるネタで、あまり一発目にやるようなネタではないのですが、せっかくの機会なのでやってみました。どうなるかと思っていましたが、落語を聞きやすい環境を整えて頂いた中、皆様に聞いていただきとても感謝しております。また、次回企画もよろしくお願ひいたします。



2014/06/12



鈴々舎八木馬
(大谷 亮 H10年卒)

第30回記念総会を終えてのおもい

昭和38年機械卒 上手 峰幸

この原稿は年配者に書いてほしいとの事で、お引き受けしました。

現支部設立のいきさつについて詳しくはわからないです、私は最初から、かかわっていました。

当初の大賀幹事長が、同じ山岳部と一緒に活動していた関係で誘われたからです。

いずれにいたしましても、最初、支部を立ち上げるには、相当な情熱でとりかからないと、成し得なかつたことと思います。

初代中川正経支部長（24年数卒）と大賀幹事長（38年機卒）の熱烈な気合と大勢の協力がなければどうにもなりません。当時は力のある先輩が大勢参加されていました。

東京支部設立時は中川支部長の奥さんの「とんかつや」さんで、集まり打ち合わせをし終わってからは、いつも会食でごちそうになりました。その後ずっと中川支部長就任中は、いつも「とんかつや」さんで、場所も食事もお世話になりました。

どこの支部も同じでしょうが、そう簡単に、支部長の役は出来るものでないと、考えます。

ここから、第30回記念総会のことを書いてみます。平成25年9月21日で

今回は四谷の主婦会館エフプラザからコートヤード・マリオット銀座東武ホテルに会場を変更、すこし無理をして開催した感があります。その関係で寄付を特別にお願いし、19名の方々にご有志を頂きました。

出席者は90余名で、校友会亀岡会長をはじめ、大学校友課、静岡県支部、愛知県支部、神奈川県支部、埼玉県支部、千葉県支部、日本相撲協会か

ら高砂親方、大岩戸関、誉富士関、宝富士関、徳将龍関と4名の現役関取と多くの校友ゲストが出席されました。

このような催しに大勢参加いただけるのは、2代目八木支部長（28年機卒）、3代目前支部長（31年商卒）、4代目松永支部長（27年機卒）、5代目宮川支部長（46年工卒）の活躍があったからと考えます。

支部設立当初は、北海道支部、台湾支部、神戸支部、徳島県支部など訪れ、ゴルフコンペとあわせて、親睦を深めました。

特に静岡県支部など、常に総会が、ゴルフと抱き合いで行う、ものですから、10名近い参加者がいました。

ただ、残念なことに、元支部長の中川、八木先輩は病気入院中であり、ゴルフ大好きの三代目前先輩は昨年亡くなられました。大変残念です。

30周年記念総会という節目は終えましたが、東京支部活動は脈々と続いています。一木会ゴルフ、ゴルフ合宿、ちゃんこ会、東京支部寄席、屋形船、相撲部屋行事、新年会、忘年会、釣り船、ハイキング会、友好支部との交流、学生スポーツ競技の応援等、年間行事が多方面にわたって開催されます。この伝統を継続していってもらいたいと願っております。



「大山（おおやま）・阿夫利神社」ハイキング会

昭和50年法卒 尾上 良和



平成25年11月16日（土）、校友会のハイキングが実施されました。

大山は丹沢大山国定公園の丹沢山麓の東端にあり、標高1,252mのピラミッド型の山容です。宮川支部長はじめ9名ほどの参加がありました。

集合場所は小田急伊勢原駅改札口で混雑する中待ち合わせました。

天候もよく、紅葉の時期でもあり伊勢原バス停も長い列ができており、バスを待ちました。

大山ケーブルバス停より、徒歩でケーブル乗場までの日常生活あまり経験しない長い坂道は、少しからだの調子の様子が良くも悪くもためされます。

ケーブルカーに乗り大山阿夫利神社下社にお参りし集合写真を撮りました。

ここからは、各自（老若男女）、登山のベースが違うため、自由行動となりました。この下社に自己責任において14時集合を決めました。多くの一般の登山者に囲まれて、校友会6人ほどがゆるい一団なって登り始めました。最初から急な勾配の石段が続き、山頂まで標高差530mをかなりきつい感じでマイペースで登りました。登りながら世間話も交え、時々現れる道標の「○○丁目」の表示に

一喜一憂しながら、進んでいきました。天候はあまり風もなく晴れたり曇ったりの天気で、急登が続くため少々汗ばむ気候でした。支部長とともに、12時10分ごろ山頂に着き記念写真を撮りました。残念なことに「富士山」を眺めることができませんでした。昼ごはんと支部長より頂いたお菓子を摂り、トイレを済まして下山に取り掛かりました。下山は、ある程度まとまりつつ各自 降りました。登る人、降る人で混雑する登山道で、姿の見えなくなった校友の現在位置

を携帯電話で確認を取りながら、大きな山の中でも下山状況を把握することができたことは、大変便利な時代になったと思いました。

13時50分ごろ下社に着き、もみじ汁を頂きました。登山をした人、散策をした人達、全員無事に集合の後、紅葉の中下りのケーブルカーに乗りました。参道の茶店にて反省会を持ちました。生ビールで乾杯の後、豆腐料理を頂きながら、初めて顔を合わせる人もおり簡単な自己紹介などをおこない山のこと、日ごろのこと、など話に花が咲きました。

バスにて小田急伊勢原駅に着き解散となりました。多くの方は新宿方面の混雑した列車で帰路に着きました。



一木会ゴルフ「夏合宿」便り

昭和48年理工学部原子炉工学科卒 富田 久夫

今年の一木会ゴルフ夏合宿は、2014年7月15,16日に、例年のごとく、千葉夷隅ゴルフクラブと米原ゴルフ俱楽部で、二日間とも好天に恵まれ開催されました。

夏合宿一日目は、千葉夷隅ゴルフクラブで開催され、参加者は13名で、優勝は宮川正博さん、成績はグロス98、HDCP24.0、NET74.0、準優勝は、富樫さんでした。二日目は、米原ゴルフ俱楽部で開催され、参加者は12名、優勝は、富田、成績はグロス91、HDCP18.0、NET73.0、準優勝は藤井さん、ペスグロは、両日とも藤井さんの90、89でした。

一日目の表彰式を兼ねた夕食は、17時30分から米原ゴルフ俱楽部のコンペルームで開始され、当日の司会役は、幹事の富田が務め、まずは、乾杯から始まり、優勝者、準優勝者、特別賞（DC,NP）の発表でした。藤井さんの車が途中でトラブルがあり、パーティの開始が少し遅れ、乾杯を二度行いました。差し入れの焼酎（富田）とワイン（上手さん）を堪能しました。

一日目の二次会は、宿泊のロッジに場所

を変えて、お酒は、シーバスリーガル18年物1L（藤井さん）と日本酒（中鳩さん）の差し入れで、ワイワイガヤガヤ、後半は、女性陣（宮川厚子さんと初参加の田中一枝さん）が部屋に戻ってからは、男性談義に花が咲きました。内容は想像にお任せします。1Lのウイスキーは、9割程度飲み干してしまいました。

写真は、二日目の米原ゴルフ俱楽部のスタート前の集合写真で、初日のみ参加の中谷さんは、あいにく写っておりません。

二日目の表彰式を兼ねたパーティは、今日は、車で帰る人が大半だったので、アルコールは三人だけで、表彰式は、優勝、準優勝、特別賞（DC、NP、団体賞）の発表で、団体賞は、一組目の藤井さん、上手さん、田中宏さん、富田でした。

今まで名前の載らなかった方々を紹介しますが、今回いろいろとお世話になりました平尾さん、二日目バーディを二個出した佐久間さん、夏合宿初参加の鈴田さん、大変お疲れ様でした。

来年も今年同様に夏合宿を行う予定ですので、今年の参加者はもちろんゴルフに興味のある方々の参加をお願いいたします。



一木会 夏季合宿 平成26年7月16日 米原ゴルフ俱楽部